

# 露店開設時の確認事項チェックシート

確認事項		確認欄
開設場所	消防水利（消火栓、防火水槽等）から5m以内ではない。	
	消防車の進入路付近や周囲の建物からの避難に支障はない。	
防火管理	業務用消火器を準備している（6型以上を推奨）。	
	消火器をあらかじめ点検をしている。 （腐食しているもの、安全栓が無いもの、古くなったもの、使用済みではない。）	
	消火器の正しい取扱い方法を確認した。	
火気器具等	整理整頓に努め、近くに可燃物を置いていない。	
	安定した不燃性の床、台または板（厚さ12mm以上の石膏ボード等）の上に設置している。	
	火気器具の正しい取扱い方法を確認した。	
液化石油ガス（LPガス）	ガス容器は直射日光が当たる場所や火気等の近くを避け、通気性の良い場所に設置している。	
	ガス容器は火気器具から2m以上離している（10kg以上）。	
	ガス容器は転倒しないようにしている。	
	LPガス用の器具を使い、ゴムホースはひび割れ等の劣化はない。	
	ゴムホースの接続部は、抜け防止用バンド等で締め付けている。	
カセットコンロ	カセットボンベの装着部分を覆う調理器具を使用していない。	
薪、炭等	使用中はみだりにその場を離れない。	
	使用後の後始末、消火を確実に実施した。	
電気器具	たこ足配線はせず、許容電流を守っている。	
	電気配線には照明器具等の荷重がかからないようにしている。	
	水がかかるおそれがある箇所に防水措置を講じている。	
発電機	燃料漏れがないことを確認し、稼働したままで給油や移動をしない。	
	可燃性ガスが滞留するおそれのない、安定した平らな場所で使用している。	
	排気が燃料携行缶やボンベ、可燃物に当たらないようにしている。	
危険物容器（携行缶）	消防法令に適合した容器を用いている。	
	キャップを開ける際は、圧力弁等を操作して容器内圧を下げる。	
	直射日光や火気、高温となる場所を避け、温度が上昇しないように保管している。	
暖房器具	可燃物との距離を十分に保っている。	
	給油する際は、必ず消火してからおこなう。	
玩具用煙火	蓋のある不燃性の容器に入れるか、防炎性の物で覆っている。	
放火防止	無人になる時は、ガス容器等の燃料を設置したままにしない。	

は該当する項目を確認すること。

能代山本広域消防本部